



埼玉西部消防局 山岳救助隊 NEWS

夏号

平成28年
8月5日発行



山岳救助件数増加！



はじめとした梅雨の季節も終わり、暑い夏がやってきました。

さて、右の表は今年の4月から7月25日現在までの山岳救助件数です。昨年度までは、この時期までに数件程度でしたが、今年は倍近い11件と、増加傾向にあります。このうち大型連休中の5月1日には、棒ノ嶺で70代の男性が、登山道から約7m下の沢に滑落し、残念ながらお亡くなりになりました。

また、7月3日には、夜8時過ぎに女性の高齢者3人組みによる、道迷いが発生しました。偶然携帯電話の電波が届く場所にいたため、119番通報が可能でしたが、携帯電話のつながらない場所にいた場合、大事故に繋がりが兼ねません。幸いにも、怪我等はありませんでしたが、下山後にお話を伺うと、登山届けも提出しておらず、家族にも詳しく話をしていませんでした。ご自身の体力にあった登山計画を立て、家族にも伝えてから出かけましょう。

登山中に日没を迎えてしまったり、自分のいる場所が分からなくなってしまったときなどは、無理に行動せず、緊急避難的にビバーク（野宿）することも考えなければなりません。

明るいうちに「下山」できるではなく、「帰宅」できる登山計画をたてましょう。

No.	発生日	エリア	性別	年齢
1	4月20日	多峯主山	女性	40代
2	5月1日	棒ノ嶺	男性	70代
3	5月6日	ユガテ	男性	40代
4	5月12日	吉田山	男性	50代
5	5月22日	棒ノ嶺	女性	60代
6	5月29日	竹寺	男性	80代
7	6月3日	日和田山	男性	50代
8	6月8日	日和田山	男性	70代
9	6月12日	棒ノ嶺	男性	50代
10	7月3日	棒ノ嶺	男性	不明
11	7月3日	黒山	女性	70代



2016年8月11日、16番目の国民の祝日として「山の日」が制定されました。山に関連する国民の祝日は世界初！国内外から大きな注目を集めています。日本は国土の約7割が山です。山の日を機に各地で山を楽しむツアーやイベントが計画されています。

埼玉西部消防局飯能日高消防署としても、飯能駅構内で山岳事故防止キャンペーンをシーズンに合わせて実施します。



クマ出没注意



今年、秋田県で5月から6月にかけて、クマに襲われて死亡したとみられる4人の遺体が発見されるという痛ましい事故がありました。飯能市内においても過去に、クマの目撃情報は多数上がっています。クマに出会ってしまったら、どうするべきか、以下にまとめました。まずは、出会わないために、

音を鳴らしながら歩く クマ鈴や、ラジオ、歌を歌うなどして、人が居ることを知らせ、近づかせないようにしましょう。

出会ってしまったら、**驚かせない** クマは、基本的には臆病な動物です。人もクマを見たら驚きますが、クマも驚きます。そこで、叫び声を出したりして、驚かせないようにしましょう。

また、逃げる場合は**背中を向けないように**逃げましょう。クマが全力で走ると時速60kmといわれています。このスピードで追いかけられたら、逃げ切れません。クマの様子を伺いながら、後ずさりして逃げましょう。



熱中症予防

これからの季節で怖いのは、熱中症です。特に高齢者や子どもは、注意が必要です。熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調節機能も低下しているため、注意が必要です。また、子どもは体温の調節能力が十分に発達していないので、気を配る必要があります。

登山をするうえでの熱中症予防ポイント

- 登山前に500ml程度のスポーツドリンクを飲む
- 30分おきに、水分を補給し、休憩をとる
- 食べ物から糖質をしっかりと補給する



これからが、暑さの本番です。上記の事をしっかりと守り、楽しい登山を楽しみましょう！



登山届けを提出しましょう！！

いざという時に、役に立つのが「登山届け」です。消防・警察の山岳救助隊は、提出された登山届けの情報をもとに、捜索活動を行います。登山届けは、登山口に設置してあるポストや、埼玉県警察のホームページからも提出できます。

また、家族や身近な人に渡しておくだけでも大きな情報源となります。

